

2009年8月24日

本日は全国いっせいで薬害根絶デー！

私たち民医連の薬剤師は 薬害のない社会をめざし



安全で安心な薬物療法のためにがんばります！

1999年8月24日、厚生労働省は、サリドマイド・スモン・薬害エイズなど悲惨な薬害の発生を反省し、薬害根絶のために最善の努力を重ねていくことを国民に対して誓う決意のもと、厚労省敷地内に「誓いの碑」を建立しました。

この「誓いの碑」を薬害根絶のシンボルとして、国や製薬企業が国民一人ひとりの命を大切にしているか、患者の人権を尊重しているか、医薬品の危険性に注意を払い適切な対策をとっているかなど、絶えず厳しい監視の目を向けていくことが、私たち国民の重要な役割です。毎年、8月24日を「薬害根絶デー」と位置づけ、全国各地で薬害根絶のための取り組みを行っています。今年の薬害根絶デーは10回目となります。



厚労省にある「誓いの碑」

★「薬害」とは★

医薬品には有効性と同時に副作用も併せ持っています。日常の治療の中で残念ながら副作用が起こることもあります。それは「薬害」とは定義されません。「薬害」とは重大な副作用が起こることを知りながら、製薬企業の利益追求のために販売を続けた結果や、危険性を察知した厚労省が早期に販売の中止を指示しなかったことによって、大量に副作用被害者が発生するといった、いわば「人的な被害」によるものです。それゆえ、「薬害」はなくさなければならぬのです。

【日本の主な薬害の歴史（係争中の事件も含む）】

1961年：サリドマイド 1970年：スモン 1973年：筋短縮症 1983年：薬害エイズ
1988年：陣痛促進剤 1989年：新三種混合(MMR) ワクチン禍 1996年：薬害ヤコブ
2002年：薬害肝炎 2002年：薬害イレッサ 2006年：薬害タミフル

※詳細をお知りになりたい方は、お近くの民医連の薬剤師まで。

全日本民主医療機関連合会

(株)〇〇企画 〇〇薬局